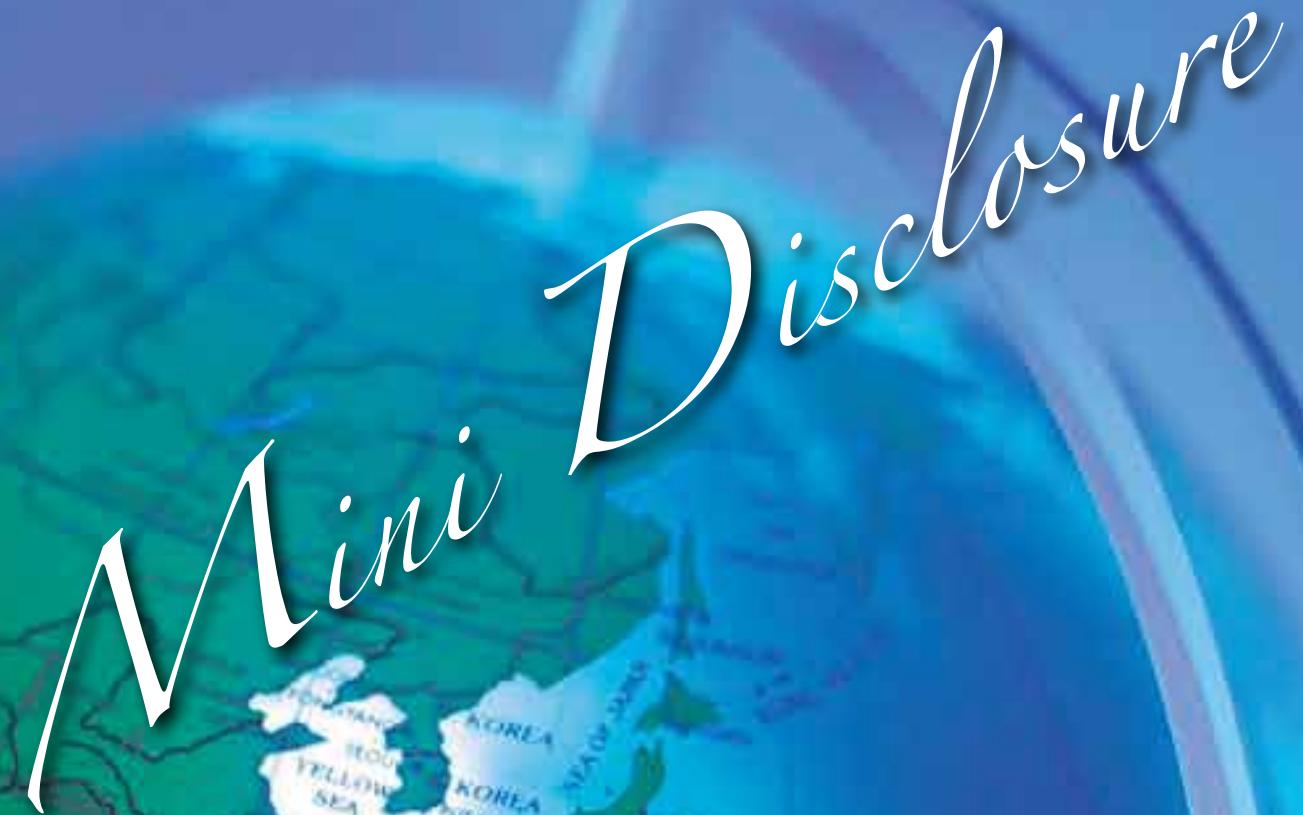


地域と向き合う、次代につなぐ。信頼のFIDEA

**フィデアホールディングス株式会社**  
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号  
<http://www.fidea.co.jp/>

**株式会社 荘内銀行**  
〒997-8611 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号  
<http://www.shonai.co.jp/>

**株式会社 北都銀行**  
〒010-0001 秋田県秋田市中通三丁目1番41号  
<http://www.hokutobank.co.jp/>



# Mini Disclosure

ミニディスクロージャー誌

平成24年 9月期・事業の中間ご報告

フィデアホールディングス株式会社



皆さまには、平素よりフィデアグループをご愛顧たまわり、心より御礼申し上げます。

平成24年9月期の「事業の中間ご報告」をお届けいたします。

東北地方には、人口減少が続く中心市街地の再開発や高齢社会を守る医療・介護分野の充実、グローバル化や円高傾向の継続などに伴う地域の産業空洞化対策など、地域社会の構造変化によって生じている多くの課題があります。

また、昨年3月に発生した東日本大震災からの復旧・復興も成し遂げなければならない大きな課題であります。現在、地域の産学官金一体となった努力、日本全国、世界各国からの善意により一歩ずつ進み始めておりますが、被災地での新しいコミュニティの再構築や、観光客数の落ち込み、雇用創出などの問題が顕在化しつつあり、真の復興に向けた全般的な活動は緒についたばかりです。

フィデアグループは、平成21年10月の誕生以来、お陰さまで3年が経過いたしました。リーマンショック、東日本大震災など日本経済を揺るがす激動の時期と重なるなかで、「オープンプラットフォーム型経営統合」の理念実現に向けた「土台づくり」に取り組んでまいりました。これからは、これまで育んだグループ総合力を結集して、地域での新しい東北づくりを目指した革新的な取り組みに積極的に参加、支援してまいります。

現在、大震災を契機に社会的要請が高まった再生可能エネルギー開発の分野では、「ウェンティ・ジャパン」のプロジェクトに主体

的に参画しております。日本海沿岸の豊富な風資源を活用した新たなエネルギー開発を担いながら、地元企業への部品発注などを通じて、地域産業の活性化につなげていくことを期待しております。

また、潜在力のある農業コンテンツを発掘するとともに、販売チャネルを開拓し「農業」・「観光」・「食」を結びつけて、多様な付加価値を創出する「あきた食彩プロデュース」の活動にも主体的に参画しております。このほか、さまざまな形で海外とも提携の輪を広げ、地元の優れた産品を海外に紹介し、マーケットを拡大するお手伝いをしております。

フィデアグループは、『地域と向き合う、次代につなぐ。信頼のFIDEA』をスローガンとしております。県境を越える広域金融グループという優位性を活かし、単なる銀行業から金融情報サービス業に業態進化することを目指しております。地域の課題解決につながるイノベーションをプロデュースする役割の一端を担いながら、皆さまからの信頼にお応えし、地域の発展を支えてまいりたいと考えております。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

フィデアホールディングス株式会社  
代表執行役社長 CEO 里村 正治

## Contents

フィデアホールディングス(シンボルマーク・グループ理念)	1	業績ハイライト(荘内銀行・北都銀行)	10・11
企業概要(フィデアホールディングス)	2・3	預貸金の状況(荘内銀行・北都銀行)	12・13
企業概要(荘内銀行・北都銀行)	4・5	財務諸表(単体)平成24年度中間決算の内容について(荘内銀行・北都銀行)	14・15
地域とともに(荘内銀行・北都銀行)	6・7	株式関係のご案内(フィデアホールディングス)	16
連結業績ハイライト(フィデアホールディングス)	8	用語の解説	17
連結財務諸表(フィデアホールディングス)	9		

※当ミニディスクロージャー誌では、計数は原則として単位未満切捨てのうえ表示しております。ただし、構成比につきましては端数を調整して表示しているものを含んでおります。



## グループ理念〈FIDEA 5〉

私たちは、地域に密着した「広域金融グループ」として、  
お客さまの高い満足と地域の発展のために、上質な「金融情報サービス」を提供し続ける。

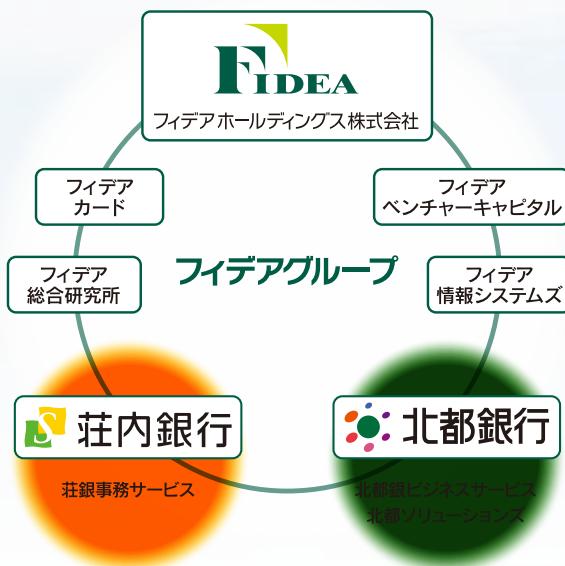
- 常にインキュベーション、イノベーションを創発する「開かれたネットワーク」を目指す。
- 次代へのナビゲーション、ソリューションを提供する「お客さまのベストパートナー」となる。
- 過去の慣例にとらわれない発想とチャレンジにより「地域のフロントランナー」であり続ける。
- 人材を活かし、組織をつなぎ、価値創造へとリードする「金融情報サービスのプロ集団」となる。
- 顧客と社会の視点に立って、透明・公正・公開に徹する「信頼の金融グループ」であり続ける。

## フィデアホールディングス株式会社 (平成24年9月末日現在)

創 立 年 月 日	平成21年10月1日
本 社 所 在 地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号
代 表 者	代表執行役社長 CEO 里村 正治
決 算 期	3月31日
連 結 従 業 員 数	1,898名
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部(証券コード 8713)

## フィデアグループ (平成24年9月末日現在)

株式会社荘内銀行	荘銀事務サービス株式会社
株式会社北都銀行	北都銀ビジネスサービス株式会社
フィデアカード株式会社	株式会社北都ソリューションズ
株式会社フィデアベンチャーキャピタル	北都チャレンジファンド1号投資事業組合
株式会社フィデア総合研究所	フィデア中小企業成長応援ファンド1号投資事業組合
株式会社フィデア情報システムズ	



## 主要な営業所 (平成24年9月末日現在)

- 秋田県**  
北都銀行……本店ほか78カ店  
荘内銀行……………1カ店
- 山形県**  
荘内銀行……本店ほか62カ店  
北都銀行……………1カ店
- その他**  
インターネット専門支店  
荘内銀行……………1カ店
- 宮城県**  
フィデアホールディングス 本社  
荘内銀行……………12カ店  
北都銀行……………1カ店
- 福島県**  
荘内銀行……………2カ店
- 東京都**  
フィデアホールディングス 東京オフィス  
荘内銀行……………1カ店  
北都銀行……………1カ店

## 大株主 (平成24年9月末日現在)

### 普通株式(上位10名)

氏名又は名称	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
タイヨウパルファンドエルピー	6,928千株	4.82%
株式会社みずほコーポレート銀行	3,751千株	2.61%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,463千株	2.41%
フィデアホールディングス従業員持株会	2,923千株	2.03%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,538千株	1.76%
財団法人克念社	1,500千株	1.04%
明治安田生命保険相互会社	1,494千株	1.04%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,493千株	1.04%
廣野 摂	1,472千株	1.02%
みずほ信託銀行株式会社	1,307千株	0.91%

### B種優先株式

氏名又は名称	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
株式会社整理回収機構	25,000千株	100.00%

(注)持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 役員 (平成24年11月1日現在)



フィデアホールディングス株式会社  
代表執行役社長 CEO  
里村 正治

取締役 取締役会議長	町田 睿	代表執行役社長	里村 正治
取締役*	里村 正治	代表執行役副社長	吉本 和彦
取締役	國井 英夫	専務執行役	大八木政春
取締役	斉藤 永吉	専務執行役	原田儀一郎
取締役*	吉本 和彦	専務執行役	渡部 均
取締役	塩田 敬二	専務執行役	伊藤 兵一
取締役	伊藤 新造	常務執行役	尾野 文昭
取締役	長谷川恭昭	執行役	柏木 武俊
取締役	金井 正義	執行役	鈴木 昭
取締役	能見 公一		
取締役	吉谷 勝幸		

(注)1.取締役の伊藤新造、長谷川恭昭、金井正義、能見公一及び古谷勝幸は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2.\*の取締役は執行役を兼務しております。

**荘内銀行** (平成24年9月末日現在)

創業年月日 / 明治11年12月1日 (第六十七国立銀行)

本店所在地 / 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号

代表者 / 代表取締役頭取 國井 英夫

総資産 / 1兆1,927億円 貸出金残高 / 8,216億円 預金等残高 / 1兆848億円 純資産 / 401億円

本支店・出張所数 / 80力店(山形県内63力店、宮城県内12力店、福島県内2力店、東京都、秋田県各1力店、その他1力店)

従業員数 / 784名



株式会社荘内銀行  
頭取 國井 英夫

役員 (平成24年11月1日現在)

代表取締役頭取 ※ 國井 英夫

取締役副頭取 ※ 土橋 和利

専務取締役 ※ 本田 敬之

専務取締役 ※ 大八木政春

専務取締役 ※ 魚住 政喜

専務取締役 ※ 原田儀一郎

常務取締役 ※ 鈴木布佐人

常務取締役 ※ 前田 新一

常務取締役 ※ 上野 雅史

取締役 ※ 長谷川浩二

取締役相談役 町田 睿

取締役 里村 正治

常勤監査役 長坂 紳一

監査役 金井 淨

監査役 岸三郎兵衛

監査役 大場 正仁

頭取執行役員 國井 英夫

副頭取執行役員 土橋 和利

専務執行役員 本田 敬之

専務執行役員 大八木政春

専務執行役員 魚住 政喜

専務執行役員 原田儀一郎

常務執行役員 鈴木布佐人

常務執行役員 前田 新一

常務執行役員 佐藤 友昭

常務執行役員 小松 久弘

常務執行役員 伊藤 博

常務執行役員 上野 雅史

執行役員 長谷川浩二

執行役員 門脇 茂

執行役員 後藤 俊彦

執行役員 富樫 秀雄

執行役員 五十嵐隆志

執行役員 伊藤 武仁

(注) 1. 監査役の岸三郎兵衛及び大場正仁は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
2. ※の取締役は執行役員を兼務しております。

**北都銀行** (平成24年9月末日現在)

創業年月日 / 明治28年5月3日 (株式会社増田銀行)

本店所在地 / 秋田県秋田市中通三丁目1番41号

代表者 / 代表取締役頭取 齊藤 永吉

総資産 / 1兆2,651億円 貸出金残高 / 7,537億円 預金等残高 / 1兆1,740億円 純資産 / 367億円

本支店・出張所数 / 82力店(秋田県内79力店、東京都、山形県、宮城県各1力店)

従業員数 / 865名



株式会社北都銀行  
頭取 齊藤 永吉

役員 (平成24年11月1日現在)

取締役会長 町田 睿

代表取締役頭取 齊藤 永吉

専務取締役 豊島 光裕

専務取締役 渡部 均

専務取締役 富岡 行介

専務取締役 伊藤 兵一

取締役 里村 正治

取締役 石井 資就

取締役 佐藤 裕之

常勤監査役 三浦 洋一

監査役 京野 勉

監査役 七山 慎一

監査役 田中 伸一

常務執行役員 進藤 勝実

常務執行役員 工藤 吉郎

執行役員 佐藤 一友

執行役員 齊藤 庸助

執行役員 佐藤 俊哉

執行役員 川村 和夫

執行役員 加賀谷尚志

執行役員 九嶋 敏明

執行役員 佐藤 磨

執行役員 廣嶋 義也

(注) 1. 取締役の石井資就及び佐藤裕之は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役の京野勉、七山慎一、田中伸一の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

ときめき通り支店オープン



オープニングセレモニー

平成24年11月12日、山形市五十鈴のときめき通り沿いに「ときめき通り支店」を新築オープンしました。ときめき通り支店は、流通センター支店を移転・名称変更の上、鈴川支店を統合し、山形住宅ローンスクエアを併設しています。お客さまにご利用いただきやすいよう、広い駐車場をご用意し、平日は9時から18時まで、土曜日は10時から17時まで営業しています。

公益信託 荘内銀行ふるさと創造基金

「公益信託 荘内銀行ふるさと創造基金」は、平成24年度まで、延べ356件に総額7,925万円の助成を行いました。平成24年度に「荘内銀行ふるさと創造基金 地域貢献大賞」を新設し、これまで助成を行った団体・学校などの中から、地域に波及効果のあった取り組み・活動を顕彰しています。

真に豊かで潤いのある地域社会を築いていくために、今後もこの基金を通じて、生涯学習活動、芸術・文化活動を支援いたします。



地方からの贈り物 第4弾

地域のスポーツを応援しています

モンテディオ山形や楽天イーグルスなど地元のプロスポーツチームを応援しています。山形県内の一部店舗で「ユニフォーム着用応援デー」を実施し、地域の皆さまと一緒にモンテディオ山形を応援しました。楽天イーグルスとは、鶴岡市内の野球スポーツ少年団向けに「荘内銀行・楽天イーグルス野球教室IN鶴岡」を開催しました。また、スポーツ応援定期預金など商品企画などを通じて、両チームをサポートしています。



フードセレクション

販路拡大のおてつだい



北都銀行などが主催する「北都ビジネスフォーラム」や、「地方銀行フードセレクション」、「地方からの贈り物プロジェクト」などを通じて、地域産品の知名度向上や取引先企業の販路拡大をサポートしています。このほか、国の委託事業である「中小企業支援ネットワーク強化事業」の拠点として、専門知識の豊富なアドバイザー、専門家とともに、お取引先企業の課題解決のお手伝いをしています。



野球教室

地域とともに



オープニングセレモニー

十文字支店 新築移転オープン

横手市の十文字支店が、新築移転オープンしました。店内2階には広々としたスペースがあり、展示会やセミナーなど、地域のお客さまに気軽にご利用いただけるよう開放しています。また、以前は15函だった貸金庫を、全自動貸金庫90函に増やし、土日祝日も利用いただけるようにしました。同店は秋田県内でも有数の豪雪地域にあり、駐車場の除雪作業に苦慮していましたが、新店舗には無散水融雪設備を設置。お客さまに冬期間も安心してご来店いただけます。

『お守り口座』～普通預金と休業サポート保障がひとつに!!～

「お守り口座」は、普通預金口座と保障(休業サポート保障)がひとつになった新商品です。お客さまの生活に必要な「普通預金」に、生計の一部を保障する保険を付与しています。決済口座に保障がついているため、入出金のキャッシュフローと保障が同一に管理できる分かりやすさと利便性を備えています。お客さまのライフステージと様々なニーズに合わせた商品・サービスの提供をしています。



ビジネス商談会

北都 ビジネスクラブ

北都ビジネスクラブは、企業経営者の多様化・高度化するニーズに迅速、かつ的確に対応し、企業の皆さまの本業をバックアップするための会員組織で、情報誌やビジネス・リポートの提供、インターネットサービスほか、地域経済の活性化と地元企業の振興を目的に「ビジネス商談会」を開催しております。

今年9月、「北都ビジネスフォーラム2012第14回ビジネス商談会」を開催。フィデアホールディングス発足以降、荘内銀行の取引先企業からもご参加いただいており、今回は、山形県内企業11社を含む54社が出展。秋田県内外の企業が業種を越えて一同に会する「ビジネスマッチングフェア」として定着し、大きな注目を集めました。



北都ジュニアバドミントンクラブ

スポーツ振興活動

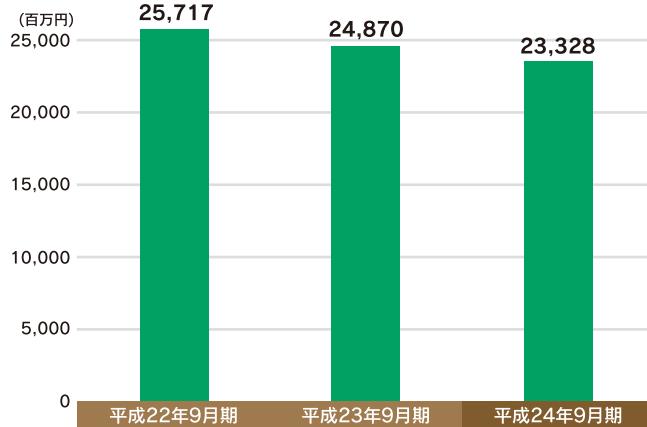
女子バドミントン部は、日本リーグの最高峰である1部リーグに所属し、活動しています。平成20年度より、秋田県内の特別支援学校を対象にバドミントン教室を行い、バドミントン部監督・コーチを含む部員全員でスポーツの楽しさを伝えています。また、秋田県内の小・中・高生へバドミントンの技術指導を行う「北都ジュニアバドミントンクラブ」は設立8年目を迎えました。

地域とともに 荘内銀行

地域とともに 北都銀行

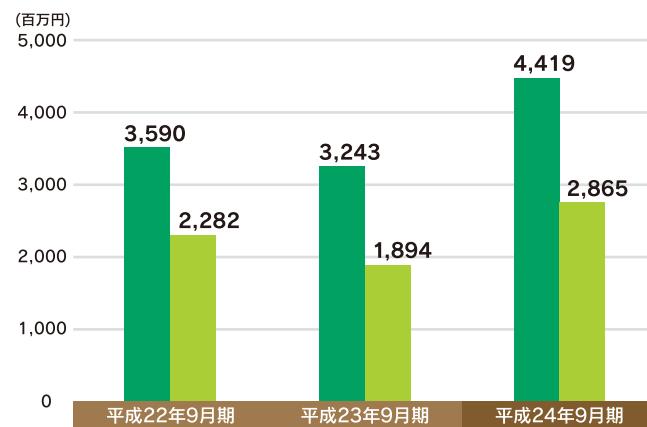
# 連結業績ハイライト

## 連結経常収益



有価証券の売却益が減少したことなどにより、前年同期比6.1%減収となる233億28百万円となりました。

## 連結経常利益・連結中間純利益



経費や与信関係費用の減少などにより、経常利益は前年同期比36.2%、中間純利益は同51.2%増益となりました。

## 連結決算の状況

科目	平成24年9月期		平成23年9月期
	金額	前年同期比	金額
連結粗利益	18,936	△480	19,416
資金利益	15,339	103	15,236
役員取引等利益	2,868	△142	3,011
その他業務利益	728	△440	1,169
うち国債等債券損益	414	△786	1,200
営業経費	14,364	△91	14,455
その他経常損益	△153	1,564	△1,717
うち株式等関係損益	△569	△422	△147
経常利益	4,419	1,175	3,243
中間純利益	2,865	970	1,894
与信関係費用	△20	△2,164	2,144

(単位:億円)

総資産	24,357	1,608	22,749
預金等残高	22,460	1,076	21,384
貸出金残高	15,630	842	14,788
有価証券残高	7,523	668	6,854

## 連結自己資本比率



内部留保の増加により、連結自己資本比率は前年同期末比0.12ポイント上昇の8.89%、連結Tier I 比率は同0.19ポイント上昇の6.54%となりました。

# 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

(資産の部)		(負債の部)	
科目	金額	金額	
現金預け金	45,812	預金	2,108,072
コールローン及び買入手形	24,000	譲渡性預金	137,958
買入金銭債権	4,700	コールマネー及び売渡手形	40,977
商品有価証券	59	借入金	41,320
金銭の信託	1,956	外国為替	51
有価証券	752,329	社債	10,000
貸出金	1,563,023	その他負債	16,415
外国為替	2,467	賞与引当金	309
その他資産	9,001	退職給付引当金	1,705
有形固定資産	21,584	睡眠預金払戻損失引当金	306
建物	8,986	偶発損失引当金	379
土地	10,938	その他の引当金	56
リース資産	246	繰延税金負債	13
建設仮勘定	61	再評価に係る繰延税金負債	666
その他の有形固定資産	1,351	支払承諾	14,013
無形固定資産	1,400	<b>負債の部合計</b>	<b>2,372,248</b>
ソフトウェア	892		
のれん	370		
その他の無形固定資産	137		
繰延税金資産	11,350		
支払承諾見返	14,013		
貸倒引当金	△15,948		
<b>資産の部合計</b>	<b>2,435,751</b>		

(純資産の部)	
科目	金額
資本金	15,000
資本剰余金	24,744
利益剰余金	21,344
自己株式	△1
株主資本合計	61,088
その他有価証券評価差額金	66
繰延ヘッジ損益	△15
土地再評価差額金	1,119
その他の包括利益累計額合計	1,169
少数株主持分	1,245
<b>純資産の部合計</b>	<b>63,503</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,435,751</b>

(純資産の部)	
科目	金額
資本金	15,000
資本剰余金	24,744
利益剰余金	21,344
自己株式	△1
株主資本合計	61,088
その他有価証券評価差額金	66
繰延ヘッジ損益	△15
土地再評価差額金	1,119
その他の包括利益累計額合計	1,169
少数株主持分	1,245
<b>純資産の部合計</b>	<b>63,503</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,435,751</b>

## 中間連結損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(負債の部)	
科目	金額
経常収益	23,328
資金運用収益	16,826
(うち貸出金利息)	(13,835)
(うち有価証券利息配当金)	(2,966)
役員取引等収益	4,305
その他業務収益	1,212
その他経常収益	984
経常費用	18,909
資金調達費用	1,486
(うち預金利息)	(1,214)
(うち譲渡性預金利息)	(85)
役員取引等費用	1,437
その他業務費用	483
営業経費	14,364
その他経常費用	1,137
経常利益	4,419
特別利益	26
特別損失	29
税金等調整前中間純利益	4,415
法人税、住民税及び事業税	401
法人税等調整額	1,238
法人税等合計	1,640
少数株主損益調整前中間純利益	2,775
少数株主利益	△89
<b>中間純利益</b>	<b>2,865</b>

## 中間連結包括利益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(負債の部)	
科目	金額
少数株主損益調整前中間純利益	2,775
その他の包括利益	△933
その他有価証券評価差額金	△934
繰延ヘッジ損益	1
中間包括利益	1,842
親会社株主に係る中間包括利益	1,932
少数株主に係る中間包括利益	△90

## 中間連結株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15,000	24,744	19,344	△1	59,087	998	△16	1,119	2,101	1,331	62,520
当中間期変動額											
剰余金の配当	—	—	△864	—	△864	—	—	—	—	—	△864
中間純利益	—	—	2,865	—	2,865	—	—	—	—	—	2,865
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	—	△0
自己株式の処分	—	△0	—	0	0	—	—	—	—	—	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△932	1	—	△931	△86	△1,017
当中間期変動額合計	—	△0	2,000	△0	2,000	△932	1	—	△931	△86	982
当中間期末残高	15,000	24,744	21,344	△1	61,088	66	△15	1,119	1,169	1,245	63,502

コア業務純益



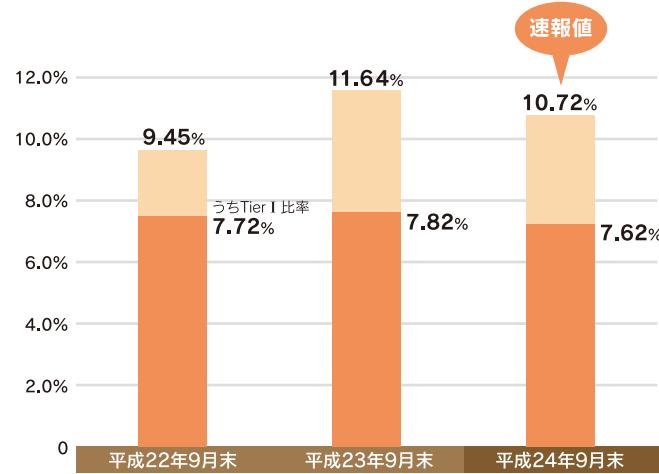
業容拡大に伴う資金利益の増加などで前年同期比7.8%増益となりました。

経常利益・中間純利益



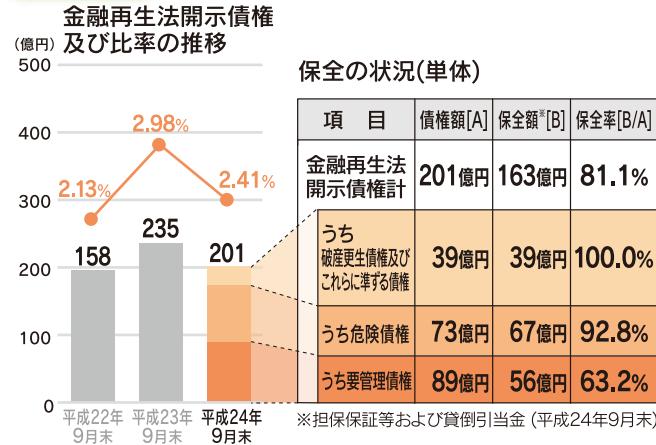
有価証券の売却益が減少したもの、資金利益の増加や、与信関係費用の減少などで、経常利益、中間純利益とも増益となりました。

自己資本比率(単体)



業容拡大に伴う、貸出金、有価証券の増加などで自己資本比率は前年同期末比0.92ポイント低下し、10.72%となりましたが、健全性は維持されています。

資産内容



金融再生法開示債権は、震災の影響を受け条件変更などに応じた貸出金の返済が一部再開するなどし、前年同期末比33億円減少の201億円となり、総与信に占める割合は2.41%となりました。

コア業務純益



経営統合効果による経費の減少などにより、前年同期比8.6%増益となりました。

経常利益・中間純利益



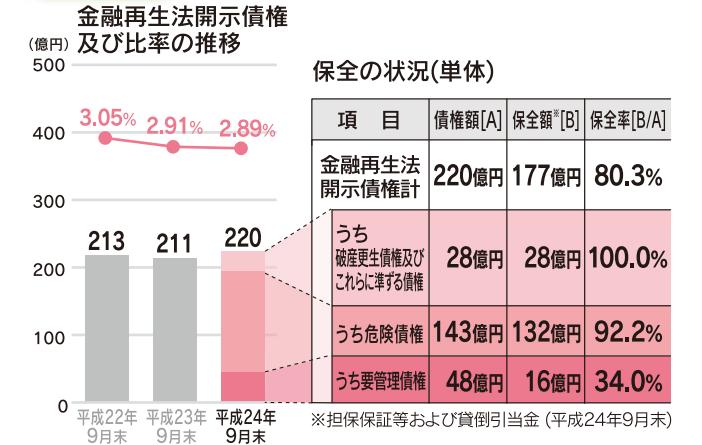
経費や与信関係費用が減少した一方で、資金運用収益や有価証券売却益が減少し、経常利益、中間純利益とも減益となりました。

自己資本比率(単体)



内部留保の積み上げなどにより、前年同期末比0.67ポイント上昇し、健全性は維持されています。

資産内容



お取引先への丁寧な経営支援活動に取り組んだ結果、開示債権額は前年同期末比9億円増加いたしましたが、総与信額の増加により、開示債権比率は0.02ポイント低下し2.89%となりました。

# 預貸金の状況

荘内銀行

## 預金等残高



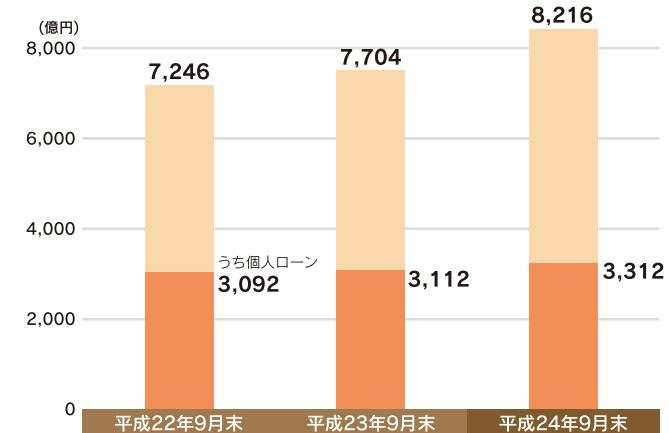
個人預金を中心に増加し、前年同期末比899億円(9.0%)増加の1兆848億円となりました。

## 地域別預金等残高・比率



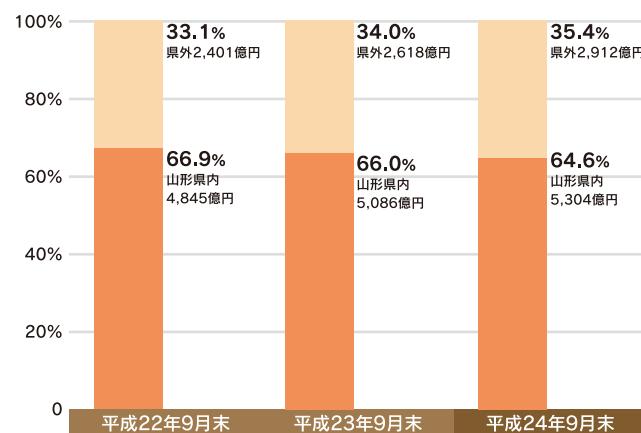
預金等残高のうち、山形県内の預金は8,726億円、比率は80.4%となっております。また、県外のうち宮城県内の預金は1,560億円(14.4%)となっております。

## 貸出金残高



個人ローンや地方公共団体向けの貸出を中心に増加し、前年同期末比512億円(6.6%)増加の8,216億円となりました。

## 地域別貸出金残高・比率



貸出金残高のうち、山形県内の貸出金は5,304億円、比率は64.6%となっております。また、県外のうち宮城県内の貸出金は1,657億円(20.2%)となっております。

# 預貸金の状況

北都銀行

## 預金等残高



個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期末比195億円(1.6%)増加の1兆1,740億円となりました。

## 地域別預金等残高・比率



預金等残高のうち、秋田県内の預金は1兆1,430億円、比率は97.4%となっております。

## 貸出金残高



住宅ローンや法人向け貸出のほか、地方公共団体向け貸出の増加により、前年同期末比392億円(5.4%)増加の、7,537億円となりました。

## 地域別貸出金残高・比率



貸出金残高のうち、秋田県内の貸出金は6,637億円、比率は88.1%となっております。

# 財務諸表(単体)平成24年度中間決算の内容について

## 中間貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

(資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
現金預け金	23,956	
コールローン	24,000	
買入金銭債権	1,256	
商品有価証券	28	
金銭の信託	966	
有価証券	298,282	
貸出金	821,698	
外国為替	1,470	
その他資産	3,786	
有形固定資産	11,982	
無形固定資産	358	
繰延税金資産	4,445	
支払承諾見返	5,181	
貸倒引当金	△4,690	
<b>資産の部合計</b>	<b>1,192,723</b>	

(負債の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
預金	1,016,794	
譲渡性預金	68,043	
コールマネー	20,977	
借入金	25,780	
外国為替	51	
社債	10,000	
その他負債	3,805	
退職給付引当金	976	
睡眠預金払戻損失引当金	199	
偶発損失引当金	104	
再評価に係る繰延税金負債	666	
支払承諾	5,181	
<b>負債の部合計</b>	<b>1,152,581</b>	

(純資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
資本金	7,000	
資本剰余金	18,808	
利益剰余金	13,724	
株主資本合計	39,533	
その他有価証券評価差額金	△494	
繰延ヘッジ損益	△15	
土地再評価差額金	1,119	
評価・換算差額等合計	609	
<b>純資産の部合計</b>	<b>40,142</b>	
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,192,723</b>	

## 中間損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	10,931
資金運用収益	8,694
(うち貸出金利息)	7,186
(うち有価証券利息配当金)	1,496
役員取引等収益	1,931
その他業務収益	133
その他経常収益	171
<b>経常費用</b>	<b>9,361</b>
資金調達費用	1,004
(うち預金利息)	763
(うち譲渡性預金利息)	64
役員取引等費用	941
その他業務費用	23
営業経費	6,679
その他経常費用	712
<b>経常利益</b>	<b>1,569</b>
特別利益	—
特別損失	0
税引前中間純利益	1,569
法人税、住民税及び事業税	92
法人税等調整額	577
法人税等合計	669
<b>中間純利益</b>	<b>900</b>

# 財務諸表(単体)平成24年度中間決算の内容について

## 中間貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

(資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
現金預け金	21,665	
買入金銭債権	1,770	
商品有価証券	30	
金銭の信託	989	
有価証券	462,525	
貸出金	753,754	
外国為替	996	
その他資産	4,612	
有形固定資産	13,029	
無形固定資産	550	
繰延税金資産	6,267	
支払承諾見返	8,854	
貸倒引当金	△8,028	
投資損失引当金	△1,879	
<b>資産の部合計</b>	<b>1,265,141</b>	

(負債の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
預金	1,100,622	
譲渡性預金	73,415	
コールマネー	20,000	
借入金	18,040	
その他負債	5,335	
賞与引当金	217	
睡眠預金払戻損失引当金	106	
偶発損失引当金	275	
再評価に係る繰延税金負債	1,478	
支払承諾	8,854	
<b>負債の部合計</b>	<b>1,228,345</b>	

(純資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
資本金	11,000	
資本剰余金	18,499	
利益剰余金	3,427	
株主資本合計	32,927	
その他有価証券評価差額金	1,423	
土地再評価差額金	2,444	
評価・換算差額等合計	3,868	
<b>純資産の部合計</b>	<b>36,795</b>	
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,265,141</b>	

## 中間損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	10,973
資金運用収益	8,025
(うち貸出金利息)	6,404
(うち有価証券利息配当金)	1,608
役員取引等収益	1,953
その他業務収益	454
その他経常収益	540
<b>経常費用</b>	<b>9,327</b>
資金調達費用	493
(うち預金利息)	451
(うち譲渡性預金利息)	20
役員取引等費用	608
その他業務費用	254
営業経費	7,243
その他経常費用	726
<b>経常利益</b>	<b>1,646</b>
特別利益	5
特別損失	32
税引前中間純利益	1,618
法人税、住民税及び事業税	110
法人税等調整額	604
法人税等合計	714
<b>中間純利益</b>	<b>903</b>

# 株式関係のご案内



## ●事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までです。

## ●定時株主総会

毎事業年度の終了後3カ月以内に開催いたします。

## ●基準日

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、定時株主総会において権利を行使できる株主といたします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

## ●剰余金の配当等

剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に掲げる事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって定めます。  
 なお、期末配当の基準日は毎年3月31日、中間配当の基準日は毎年9月30日といたします。また、この他基準日を定めて剰余金の配当をすることがあります。

## ●公告方法

当社の公告は、電子公告により行い、当社ホームページ (<http://www.fidea.co.jp/>) に掲載いたします。  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、宮城県仙台市において発行する河北新報、山形県山形市において発行する山形新聞、秋田県秋田市において発行する秋田魁新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

## ●株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

## ●同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

株式についてのご照会や諸届出書のご提出、単元未満株式の買取及び買増請求等につきましては、以下の窓口にお問い合わせください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 <small>(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)</small>		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。 みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

# 用語の解説

## 【コア業務純益】

預貸金業務、有価証券の保有などから得られる資金利益や為替業務、フィービジネスなどによる役務取引等利益などの合計額から経費を差し引いたもので、銀行の中核的な業務から得られる利益を示したものです。

## 【貸借対照表】

銀行の財産の状態を表したものであり、資金をどのように調達し、運用しているか等を示しています。

### 資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」等、主に資金の運用状況を表しています。

### 負債の部

お客さまからお預りしている「預金」「譲渡性預金」等、主に資金の調達状況を表しています。

### 純資産の部

株主の皆さまからのご出資である「資本金」や「利益剰余金」等を表しています。

## 【損益計算書】

期中における銀行の経営成績を表したものです。

### 経常収益

貸出金利息や各種手数料等の収益を表しています。

### 経常費用

預金利息や営業経費等の費用を表しています。

### 経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益を表しています。

### 中間純利益

会計期間の中間における経常利益から特別損益および法人税等を加除した最終的な利益を表しています。

## 【自己資本比率】

貸出金などの資産に対する自己資本の割合で、銀行経営の健全性を示す重要な指標のひとつです。銀行法上、海外営業拠点を有しない銀行の自己資本比率は4%を上回っていることが必要とされております。

フィデアホールディングスの連結自己資本比率(第二基準)は、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らしこれらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第20号)」に基づき、荘内銀行と北都銀行の連結自己資本比率(国内基準)及び単体自己資本比率(国内基準)は、「銀行法第十四条の二の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

## 【金融再生法に基づく開示債権】

貸出金のほか、銀行保証付私募債・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金・貸付有価証券について、どのような状況にあるかお知らせするもので、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」・「危険債権」・「要管理債権」をあわせたものです。

### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続き等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権。

### 危険債権

お取引先が経営破綻の状態に至っていないものの、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。

### 要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

### 正常債権

お取引先の財政状態及び経営の成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外に区分される債権。